

# 香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 香住区中央公民館

香住区の各地区公民館活動

## 地域の価値を学ぶ「ふるさとおもしろ塾」

町教育委員会では、「ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを心の糧としてたくましく生きる心豊かな人材育成」を達成するために「ふるさと教育」を推進していますが、これには、地域の住民と子どもたちが深く関わり、そこにある歴史や文化、伝統など、ふるさとを学ぶことが大切です。

各地区公民館では、この目標に向かってさまざまな取り組みを行っています。今回は、小学生を対象に特に力を入れている「ふるさとおもしろ塾」について紹介します。



▲かすみっ子フォーラムでカヤック体験をする様子（香住地区公民館主催）

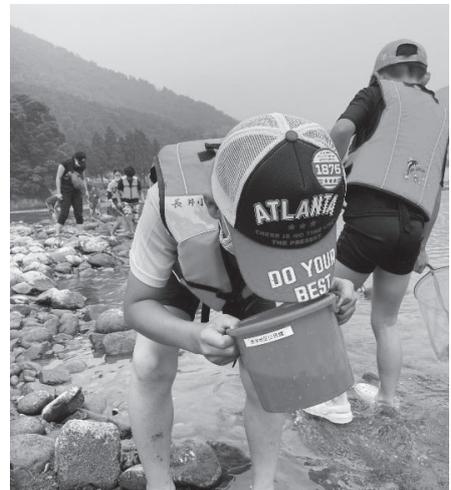
### ふるさとおもしろ塾とは？

ふるさとの自然や歴史を学ぶことを目的として、「ふるさとのしり博士」などから地域に根付く伝統的技術や知恵を学んだり、豊かな自然の中で体験活動を行ったりして、地域に誇りを持ってもらう活動で、年2回行っています。

#### ■豊かな食材・自然を活用した企画

本町には、先人たちが代々引き継いでくれた資源が数多くあります。中でも「豊かな自然」と、そこで育まれた「食材」は宝物といえます。しかしながら、この土地に暮らしていると、それらはごく普通のものであり、珍しく、貴重なものであることに気づきにくいのが現状です。

塾では子どもたちに、こういった資源の価値に気づいてもらうため、香住海岸の奇岩や絶景をめぐるカヤック体験や、日本海や矢田川に生息している生物の観察、魚（干物）の実食、スキー教室など、本町ならではの体験会を開催しています。



▲矢田川いきもの観察会の様子（長井地区公民館主催）

#### ■伝統・文化を体験する企画

ひと昔前までは、どの家庭でも当たり前に行われていた正月行事である「しめ縄作り」と「餅つき」。近年では、本町でもなかなか見られなくなりました。また、核家族化の進行により、伝統・文化に詳しいおじいちゃんやおばあちゃんと話す機会も減ってきています。

各地区公民館では、毎年冬に「しめ縄作り」や「餅つき」教室を開催し、伝統・文化を体験したり、地域住民と子どもたちのコミュニケーションの場となったりと、地域の魅力を伝える機会となっています。

このように、各地区公民館では、子どもたちが地域に誇りを持ち、ふるさとを思う心の醸成に貢献できるよう趣向を凝らした企画を行っています。

各地区にお住いの皆さん、ぜひ参加してみてくださいね。